

## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 岡本硝子株式会社

コード番号 7746 URL <http://www.ogc-jp.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 毅

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレートサービス部長 (氏名) 阿部 裕

TEL 04-7137-3111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,785	△4.5	4	△97.4	△32	—	△35	—
24年3月期第2四半期	2,918	△13.9	159	△73.4	143	△71.0	474	6.1

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 △53百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 178百万円 (△63.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△2.20	—
24年3月期第2四半期	29.74	29.71

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,092	1,293	17.3
24年3月期	6,901	1,343	18.5

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 1,224百万円 24年3月期 1,275百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,706	1.9	34	△57.5	1	△98.2	△16	—	△1.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	15,950,540 株	24年3月期	15,950,540 株
25年3月期2Q	416 株	24年3月期	416 株
25年3月期2Q	15,950,124 株	24年3月期2Q	15,943,878 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	12
(5) セグメント情報等 .....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、復興需要が景気の下支えになっているものの、世界景気の減速の影響等により景気の回復は足踏みを見せております。先行きについても、欧州や中国等の対外経済環境の不確実性は高く、世界景気のさらなる下振れや金融資本市場の変動が、わが国経済の景気を下押しするリスクがあります。アメリカ経済は、景気が緩やかに回復していますが、雇用環境や住宅市場の改善の遅れ等により、景気が下振れするリスクがあります。ヨーロッパ経済は、景気が弱含みとなっており、一部の国々の財政の先行きに対する根強い不安が金融面に影響することにより景気低迷の恐れがあります。中国経済は、消費が堅調に増加しておりますが、景気の拡大テンポは鈍化しております。

その中で、データプロジェクターは、新興国を中心として教育用途での普及、拡大が続いており、ビジネス用途でもエントリーモデルの需要が伸びております。当社グループのプロジェクター用反射鏡の販売は、数量ベースでは、増加傾向を続けておりますが、データプロジェクターの需要増加が低価格品中心であることを背景に、反射鏡の平均販売価格は緩やかに下落しております。フライアイレンズは、前期に専用炉が完成し生産能力が増加しましたが、今期はこれを受注増につなげることができ、販売数量及び販売金額は大きく増加しました。フライアイレンズの平均販売価格も下落傾向にあり、利益確保のためのコスト削減努力を続けております。

デジタルシネマ上映システムは、先進国での導入がピークを過ぎ、今後は、新興国での需要が中心になっていくと思われれます。こうした状況の下で、当社グループのデジタルシネマ用映写機の反射鏡の製造と販売は大きく減少いたしました。

当社グループは、コストダウンを目的として、平成25年1月から新潟岡本硝子株式会社で耐熱ガラス製品の反射鏡の一貫生産を計画しておりますが、結晶化ガラス製品につきましては今般炉修を終えた本社工場のガラス溶融炉にて成型し、新潟岡本硝子株式会社にて研磨以降の加工を行う予定であります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高2,785百万円(前第2四半期連結累計期間比4.5%減)、経常損失32百万円(前第2四半期連結累計期間の経常利益は143百万円)、四半期純損失35百万円(前第2四半期連結累計期間の四半期純利益は474百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①照明事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は403百万円と前年同期と比べ4百万円(1.2%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は31百万円と前年と比べ10百万円(25.2%)の減益となりました。自動車用ヘッドレンズ・フォグレンズは、ガラス製品需要の漸減傾向が続いており、販売数量が前年同期比で16.0%減少し、売上高は12.2%減少しました。

## ②光学事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は1,939百万円と前年同期と比べ85百万円(4.2%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は245百万円と前年と比べ145百万円(37.1%)の減益となりました。プロジェクター用反射鏡は、世界景気の減速のなかでも、教育用途を中心としたデータプロジェクターの需要が堅調であることから、販売数量が前年同期比で0.7%増加しましたが、売上高は9.3%減少しました。フライアイレンズにつきましては、前年同期は震災によりガラス溶融炉1基が破損したことで生産が減少しましたが、当第2四半期連結累計期間は、再建したガラス溶融炉が順調に稼動し受注も好調のため、

販売数量が前年同期比で117.2%増加し、売上高は78.3%増加しました。デジタルシネマ用映写機の反射鏡の販売は、先進国でデジタルシネマ上映システムの導入がピークを過ぎたことにより減少いたしました。

#### ③機能性ガラス・薄膜事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は42百万円と前年同期と比べ19百万円(31.1%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は84百万円と前年と比べ3百万円の減益となりました(前第2四半期連結累計期間のセグメント損失は81百万円)。太陽光発電関連のガラス製品等の販売が減少しました。

#### ④その他

当第2四半期連結累計期間の売上高は400百万円と前年同期と比べ23万円(5.5%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は30百万円と前年と比べ31百万円(前第2四半期連結累計期間のセグメント利益は0百万円)の減益となりました。紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工の受注が減少しましたが、紫外線波長域の反射鏡の販売は増加しました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて190百万円増加し、7,092百万円となりました。

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ24百万円の増加となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が142百万円増加し、現金及び預金が77百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ165百万円の増加となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ190百万円の増加となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ175百万円の増加となりました。この主な要因は、短期借入金及びリース債務が48百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ65百万円の増加となりました。この主な要因は、リース債務が197百万円増加し、長期借入金が130百万円減少したなどによるものであります。

この結果、負債合計は240百万円の増加となりました。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ50百万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が35百万円減少したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日に公表しました平成25年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日別途公表いたしました「第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期連結会計期間より、平成24年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第 2 四半期連結累計期間の営業利益は8,823千円増加し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ同額減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	612,531	535,227
受取手形及び売掛金	934,837	1,077,395
商品及び製品	421,054	389,471
仕掛品	288,331	295,919
原材料及び貯蔵品	66,332	62,993
その他	182,626	169,701
貸倒引当金	△4,784	△5,048
流動資産合計	2,500,930	2,525,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,509,504	1,546,642
機械装置及び運搬具(純額)	1,290,942	1,295,540
土地	708,614	708,614
リース資産(純額)	114,878	333,155
その他(純額)	573,186	487,316
有形固定資産合計	4,197,125	4,371,268
無形固定資産	6,992	11,468
投資その他の資産		
投資有価証券	95,472	86,974
その他	101,225	96,646
投資その他の資産合計	196,697	183,620
固定資産合計	4,400,815	4,566,357
資産合計	6,901,746	7,092,018
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	404,474	421,936
短期借入金	120,000	218,000
1年内返済予定の長期借入金	400,447	411,483
リース債務	46,354	94,797
未払法人税等	4,991	9,565
賞与引当金	44,116	22,136
未払金	269,009	273,501
その他	135,763	148,924
流動負債合計	1,425,158	1,600,345
固定負債		
長期借入金	3,718,364	3,587,572
リース債務	148,295	346,120
退職給付引当金	228,122	226,837

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
資産除去債務	28,790	29,934
繰延税金負債	9,260	8,012
固定負債合計	4,132,834	4,198,478
負債合計	5,557,992	5,798,823
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,762,390	1,762,390
資本剰余金	1,361	1,361
利益剰余金	△476,307	△511,419
自己株式	△369	△369
株主資本合計	1,287,075	1,251,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,785	△12,538
為替換算調整勘定	△9,994	△14,439
その他の包括利益累計額合計	△11,779	△26,977
新株予約権	25,096	27,909
少数株主持分	43,360	40,300
純資産合計	1,343,753	1,293,194
負債純資産合計	6,901,746	7,092,018



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,918,114	2,785,895
売上原価	2,236,532	2,290,349
売上総利益	681,582	495,546
販売費及び一般管理費		
役員報酬	37,588	36,706
給料及び手当	125,598	121,275
退職給付費用	4,118	4,713
減価償却費	17,986	15,704
旅費及び交通費	20,036	20,235
支払手数料	45,511	40,549
運賃	34,433	39,556
賞与引当金繰入額	13,948	3,575
研究開発費	72,594	64,661
その他	150,271	144,398
販売費及び一般管理費合計	522,085	491,375
営業利益	159,496	4,170
営業外収益		
受取利息	110	713
受取配当金	4,122	3,150
負ののれん償却額	12,959	—
助成金収入	30,460	30,882
受取事務手数料	2,168	8,182
その他	9,804	8,949
営業外収益合計	59,625	51,877
営業外費用		
支払利息	47,165	39,602
為替差損	25,805	27,985
シンジケートローン手数料	—	17,094
その他	2,632	3,919
営業外費用合計	75,602	88,601
経常利益又は経常損失(△)	143,518	△32,553
特別利益		
新株予約権戻入益	4,393	1,329
ゴルフ会員権償還益	—	8,550
固定資産売却益	148,702	—
関係会社株式売却益	264,466	—
その他	13	—
特別利益合計	417,576	9,879

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
特別損失		
固定資産除却損	2,329	5,413
投資有価証券評価損	48	—
減損損失	78,630	—
特別損失合計	81,009	5,413
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	480,086	△28,087
法人税、住民税及び事業税	4,417	8,340
法人税等調整額	1,090	△318
法人税等合計	5,507	8,022
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	474,578	△36,109
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	415	△996
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	474,162	△35,112

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	474,578	△36,109
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,106	△10,752
為替換算調整勘定	△286,310	△6,508
その他の包括利益合計	△296,417	△17,261
四半期包括利益	178,160	△53,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,743	△50,311
少数株主に係る四半期包括利益	△4,582	△3,060

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	480,086	△28,087
減価償却費	286,416	279,911
負ののれん償却額	△12,959	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△593	263
賞与引当金の増減額(△は減少)	△43,050	△21,979
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,664	△1,284
受取利息及び受取配当金	△4,232	△3,863
支払利息	47,165	39,602
為替差損益(△は益)	1,113	482
固定資産売却損益(△は益)	△148,702	—
固定資産除却損	2,329	5,413
減損損失	78,630	—
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	48	—
ゴルフ会員権償還益	—	△8,550
関係会社株式売却損益(△は益)	△264,466	—
売上債権の増減額(△は増加)	△154,304	△143,017
たな卸資産の増減額(△は増加)	△159,153	27,307
仕入債務の増減額(△は減少)	113,583	17,575
その他の資産の増減額(△は増加)	182,280	42,647
その他の負債の増減額(△は減少)	△56,873	80
小計	356,984	206,502
利息及び配当金の受取額	4,232	3,863
利息の支払額	△47,624	△39,805
法人税等の支払額	△10,752	△3,768
営業活動によるキャッシュ・フロー	302,840	166,791
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△600
投資有価証券の取得による支出	△3,066	△3,121
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△2,423	—
有形固定資産の取得による支出	△405,172	△381,808
有形固定資産の売却による収入	44,100	—
無形固定資産の取得による支出	△2,012	△5,840
無形固定資産の売却による収入	129,800	—
貸付けによる支出	—	△10,938
預託金の償還による収入	—	11,000
その他の支出	△2,486	△2,736
その他の収入	1,311	309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△239,950	△393,735

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	98,000
長期借入れによる収入	150,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△324,993	△219,755
株式の発行による収入	1,848	—
自己株式の取得による支出	△13	—
セール・アンド・リースバックによる収入	—	215,158
リース債務の返済による支出	△18,766	△37,973
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191,925	155,428
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,006	△3,188
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△140,042	△74,704
現金及び現金同等物の期首残高	851,951	556,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	711,908	482,227

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	照明事業	光学事業	機能性ガラス・ 薄膜事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	408,008	2,024,951	61,831	2,494,791	423,323	2,918,114
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	408,008	2,024,951	61,831	2,494,791	423,323	2,918,114
セグメント利益又は損失(△)	42,585	390,984	△81,272	352,297	671	352,969

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	352,297
「その他」の区分の利益	671
全社費用(注)	△193,472
四半期連結損益計算書の営業利益	159,496

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「機能性ガラス・薄膜事業」において、ガラス偏光子についてはプロジェクター用以外の製品開発が遅れており、又、太陽光発電用ガラス部品については事業の立上がりの遅れにより、経常的に営業損失を計上しております。このため、「機能性ガラス・薄膜事業」に係る資産の帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「機能性ガラス・薄膜事業」セグメントで78,630千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	照明事業	光学事業	機能性ガラス・ 薄膜事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	403,177	1,939,930	42,629	2,385,737	400,157	2,785,895
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	403,177	1,939,930	42,629	2,385,737	400,157	2,785,895
セグメント利益又は損失(△)	31,835	245,814	△84,902	192,748	△30,704	162,044

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	192,748
「その他」の区分の損失(△)	△30,704
全社費用(注)	△157,873
四半期連結損益計算書の営業利益	4,170

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「照明事業」のセグメント利益が10千円増加し、「光学事業」のセグメント利益が7,243千円増加し、「機能性ガラス・薄膜事業」のセグメント損失が177千円減少し、「その他」のセグメント損失が1,372千円減少しております。また、各報告セグメントに配分していない全社費用が20千円減少しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。